

ジュニアシート

エアライド

Air Ride  
エアライド

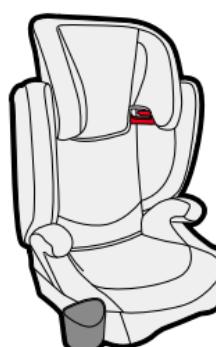
## 取扱説明書／保証書

体重15kgから36kgまでのお子さま用です。

本製品は、UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式／リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用の前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
また、お読みになった後は、本書を大切に保管してください。

本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。  
製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。  
本書のイラストは説明の便宜上、一部仕様が異なる場合があります。



ご使用前に

ジュニアシートモード

ブースターシートモード

その他

## &lt;お願い&gt;

- 本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
- 本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- 製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合もありますので、あしからず了承ください。

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13  
お客様サポートセンター TEL 0120-415-814  
携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155

UN ECE-R44/04適合  
汎用型グループII、グループIII、15kgから36kgまで。

# もくじ

## ご使用前に

ジュニアシートについて	2
保護者の方へのアドバイス	2
本書の表示について	2
本書の見かた	3
各部のなまえ	5
お子さまの条件	9
座席の条件	11
シートベルトの条件	13
ご使用上の注意	15
組み立て方法	19
ドリンクホルダーの使いかた	21
ヘッドサポートの高さ調節	22
取り付け準備	23

## ジュニアシートモード

車への取り付けかた	24
お子さまの乗せかた	25
使用時の確認	27

## ブースターシートモード

背もたれの取り外しかた	28
肩ベルト調節ストラップの使いかた	29
車への取り付けかた	31
お子さまの乗せかた	32
使用時の確認	33
ジュニアシートモードへの戻しかた	34

## お手入れ

シートカバーの外しかた	35
お手入れ	37
保管・廃棄のしかた	37
製品仕様	37
困ったときに	38
保証について	40
アフターサービスについての連絡先	41
保証書	42

# ご使用前に

## ジュニアシートについて

- ・ジュニアシートはシートベルトで自動車の座席に固定して使用し、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減しますが必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
- ・日本国内及び、ECE規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。
- ・取扱説明書に説明されている方法以外で使用しないでください。衝突などの際に充分な性能を発揮することが出来ないおそれがあります。

### 〈中古品のご使用について〉

- ・前の使用者の使用履歴が分からぬ場合や、使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。
- ・クラック(ひび割れ)や大きなキズ、留め金部のゆるみなどがある場合は、ご使用になれません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

## 本書の表示について

- ・「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表 示	表 示 の 内 容
 <b>危険</b>	誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 <b>警告</b>	誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 <b>注意</b>	誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。



製品の取扱いにおける禁止行為です。



製品の取扱いで知っておくと便利なアドバイス内容です。

# 本書の見かた

・必ずお読みください。

## ご使用前に

P2~P10

## 車の座席、シートベルトを確認

P11~P14

## ご使用上の注意

P15~P18

## 組み立て方法

P19~P23

## 各モードの使い方

P24~P33

## グループⅡ <ジュニアシートモード> 背もたれ使用

お子さまの条件  
体重: 15kgから25kgまで



P24~P27

- (1)車への取り付けかた (3)使用時の確認  
(2)お子さまの乗せかた

## グループⅢ <ブースターシートモード> 座面のみ使用

お子さまの条件  
体重: 22kgから36kgまで



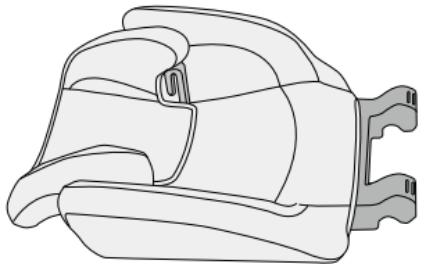
P28~P33

- (1)背もたれの取り外しかた (3)車への取り付けかた  
(2)肩ベルト調節ストラップの (4)お子さまの乗せかた  
使いかた (5)使用時の確認

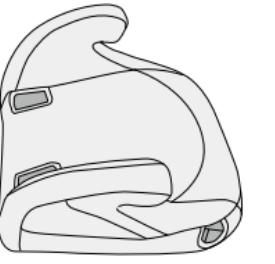
# 各部のなまえ

## 〈梱包内容〉

- ・ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。



背もたれ



座面

## 〈重 要〉ご使用の前に、お客様情報登録のお願い

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一ヶ月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ <http://www.aprica.jp/>

お客様情報登録



QRコード

## 〈付属品〉



ドリンクホルダー（1個）  
(P21参照)

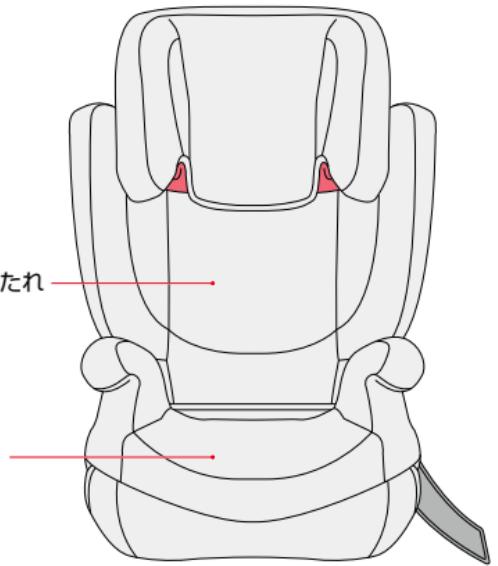


肩ベルト調節ストラップ  
(P29参照)  
(取扱説明書収納ポケットに保管してください。)

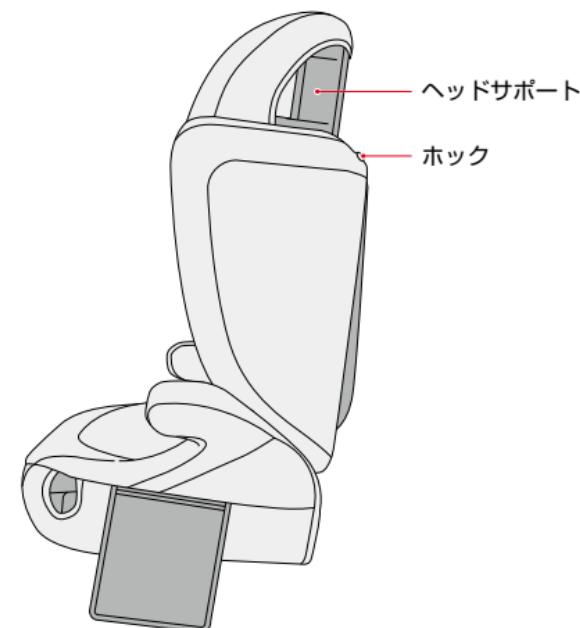


取扱説明書（本書）  
(取扱説明書収納ポケットに保管してください。)

## 〈本体正面〉

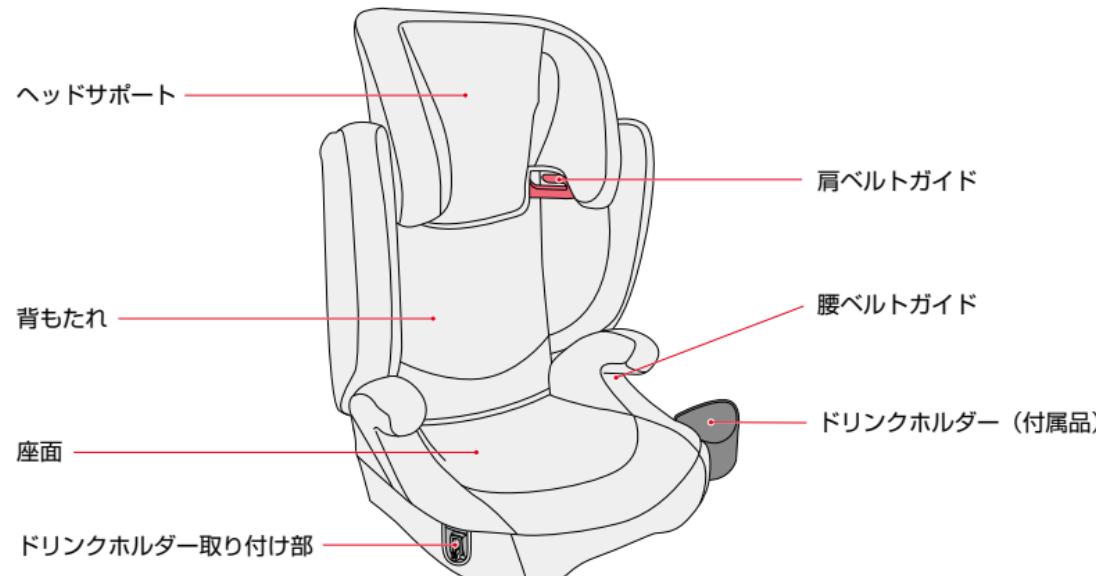


## 〈本体側面〉

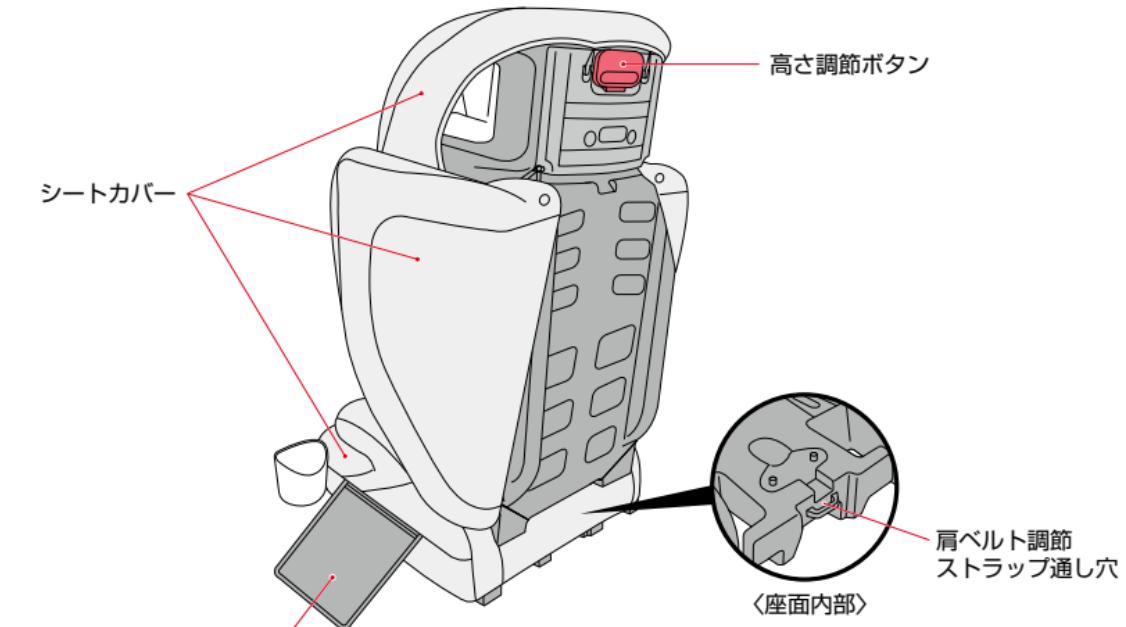


# 各部のなまえ

〈本体正面〉



〈本体背面〉



警告

・取扱説明書収納ポケットを座面の下敷きにした  
状態で使用しない。

# お子さまの条件

・下記の条件を満たさないお子さまには絶対使用しないでください。

条件を満たさないお子さまに使用した場合、衝突などの際に充分性能を発揮できません。

お子さまの体重にあわせて、2通りの使いかたがあります。

体重15kgから25kgまで

参考年齢：3歳頃から7歳頃  
参考身長：95～120cm

グループⅡ

〈ジュニアシートモード〉

〈背もたれを使用〉

- ・シートベルトでお子さまをホールドする。



体重22kgから36kgまで

参考年齢：7歳頃から11歳頃  
参考身長：120～145cm

グループⅢ

〈ブースターシートモード〉

〈座面のみを使用〉

- ・背もたれを外して、シートベルトでお子さまをホールドする。
- ・肩ベルト調節ストラップ使用。



・参考年齢と参考身長は目安です。お子さまの体重に合わせてご使用ください。



危険

・体重の条件を満たしていないお子さまには使用しない。

# 座席の条件

○本製品は「汎用」幼児拘束装置です。車両で一般的に使用するものとして、UN ECE-R44/04に基づいて認可されており、一部を除いて大抵の車両のシートに適合します。

○車両メーカーの車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」幼児拘束装置を搭載できると明記されていれば、装置が正しく取り付けられると考えられます。

## 〈お奨めする取り付け座席の位置〉

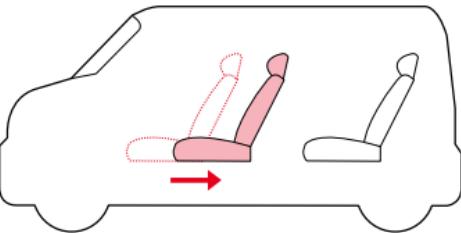
・お子さまの安全を最優先に考えジュニアシートは、2列目以後の座席に取り付けることをお奨めします。フロントエアバッグが作動した際に、お子さまが強い衝撃を受けるおそれがあります。

## 〈サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意〉

・サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できます。  
・車の取扱説明書にジュニアシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。

## 〈やむを得ず前席に取り付ける場合の注意〉

- ・座席をいちばん後ろまで移動（スライド）させ、フロントエアバッグが作動した際の影響ができるだけ少なくなるようにします。



**警告**  
・座席をいちばん後ろまで移動させた場合は、座席の背もたれの上部をシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

## 〈取り付けできない座席〉・座席の位置及び装備



- ・車のヘッドレストが外せず、座席の背もたれとジュニアシートが接触しない座席。



- ・進行方向に対して横向き及び後向きの座席。



- ・ピラーなどに接触して、正しく取り付けできない座席。

## 〈取り付けできない座席〉・座席の形状



- ・極端に奥行きが短い座席。  
(補助席や幼児専用座席)



- ・座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席。  
(極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車両など)

# シートベルトの条件

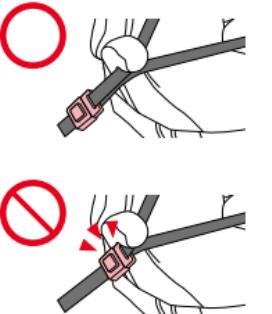
## 〈シートベルトの条件〉

- 本製品は、UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。
- シートベルトの種類については、お車の取扱説明書をご確認ください。

シートベルトの種類	特 徴	取り付け上の注意点
3点式シートベルト	ELR付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。
	ALR/ELR付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。
	その他	上記に当てはまらないシートベルト。

## 〈シートベルトバックルの正しい位置〉

シートベルトバックルの位置は、ジュニアシートの安定性に影響を及ぼす可能性があります。シートベルトバックルの位置によっては、衝突など際に充分性能を発揮できません。



- シートベルトの条件についてご不明の場合は、弊社お客様サポートセンターにお問い合わせください。

アッピリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155

受付時間：AM10:00～PM5:00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

## 〈以下のシートベルトでは使用しないでください〉

- シートベルトの取り付け幅が極端に小さく座面でバックルを踏みつける座席。
- バックル側のベルトが固い樹脂製などでかつ極端にバックルが長い座席。（一部のRV車）
- バックル及び腰シートベルトが極端に高い位置から出て、しっかり取り付けができない座席。
- バックル及び腰シートベルトが極端に前方から出て、リクライニング機構もなく、しっかり取り付けできない座席。



- 2点式シートベルトの座席。



- シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。



- パッシブシートベルトの座席。  
(座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが着装される座席)



- 市販のスポーツタイプのシートベルトが装備されている座席。



# ご使用上の注意



誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・体重15kg未満及び36kgを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



・ジュニアシートが確実に固定できない座席では使用しない。  
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・ジュニアシートの固定が不完全でシートベルトに"ゆるみ"がある場合は使用しない。  
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。  
衝突の際に充分性能が発揮できません。



誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。



・シートベルトのバックルを解除した状態で使用しない。  
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。  
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・ジュニアシートを本書及び、本体表示の説明以外の方法で取り付けない。  
製品の機能が充分発揮されないだけなく危険です。

# ご使用上の注意



**誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。**

- ・お子さまを一人で車内に残さない。
- ・同時に二人以上で使用しない。
- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはジュニアシートを取り付けない。  
(例:片側スライドドアのドア側座席など)
- ・ジュニアシートの底面の一部分にクッション、座布団などを敷かない。
- ・お子さまを拘束したままリクライニング操作をしない。
- ・お子さまの耳の上端部がヘッドサポートの上端部より上に出る場合は使用しない。
- ・極端な厚着や、防寒具の上からシートベルトを装着した場合、シートベルトのゆるみの原因となることがあります。寒さ対策はシートベルトを装着した上から行ってください。
- ・お子さまを車のシートベルトで遊ばせない。

・本製品の取り付けや取扱いに関する不明点がありましたら、弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。（P41参照）



**誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。**

- ・ジュニアシートを直射日光にさらさない。  
本体や金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。
- ・可動式シートまたは、車のドアにジュニアシートの剛性部分やプラスチック部分を挟まない。
- ・ジュニアシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
- ・車の座席が革仕様の場合には、直接取り付けない。
- ・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
- ・シートベルトで固定せずに、通常の椅子として使用しない。
- ・お子さまにジュニアシートの取り付けや、操作をさせない。
- ・ジュニアシートに重量物を載せない。
- ・砂やほこりの多い場所で使用すると可動部分に詰まり故障の原因になります。
- ・本体や、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
- ・本体に貼り付けられたシールは、はがさない。
- ・屋外に放置し、雨などにさらさない。

**緊急時のお子さまの降ろしかた**

**緊急の時はあわてずに…**

- ①車のシートベルトのバックルを外す。
- ②お子さまをジュニアシートから降ろす。
- ③安全な場所へ避難する。



**バックルから tangが抜けない時は…**

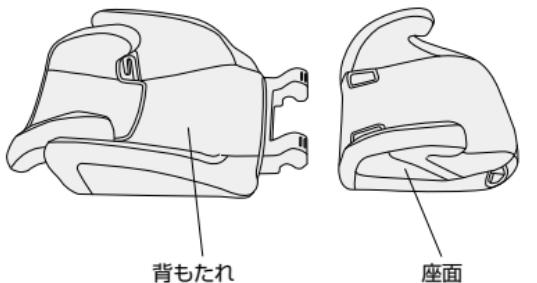
- 車のシートベルトをシートベルトカッター（市販品）などで切り、お子さまを降ろす。



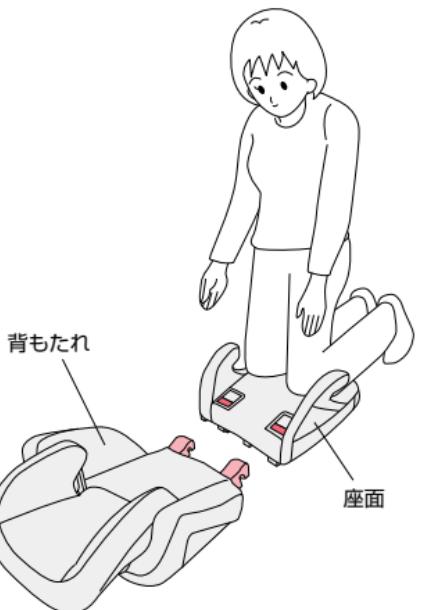
# 組み立て方法

〈背もたれ・座面の組み立て〉・組み立て作業は、広く平らな場所で行ってください。

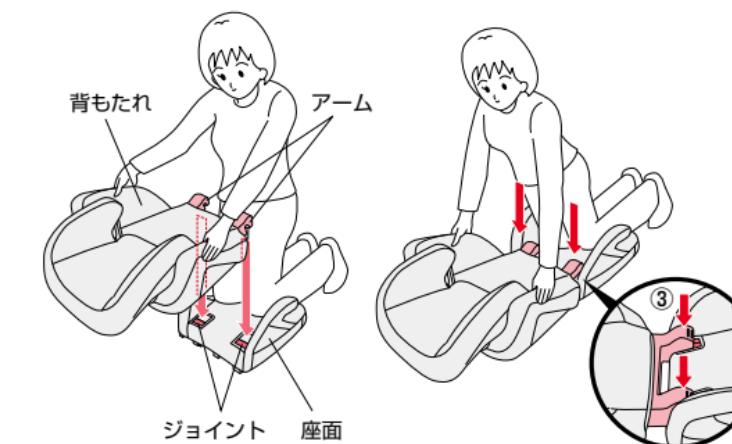
①背もたれと座面を並べる。



②座面の中央部に両ひざを乗せて体重をかける。

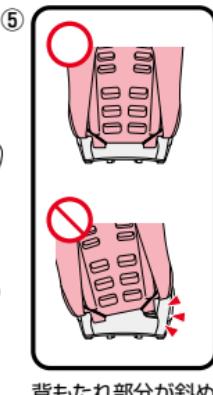


③背もたれを水平に持ち上げ、アームを座面のジョイントに掛ける。



④背もたれを起こす。

⑤背もたれが確実に取り付けられていることを確認する。



背もたれ部分が斜めにならないよう注意してください。



・組み立ては必ず大人が行い、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。  
・組み立てる時に、指などを挟まないよう注意してください。



・組み立てる時に、指などを挟まないよう注意してください。  
・組み立てたジュニアシートを運ぶ時は、座面から背もたれが外れないよう注意してください。

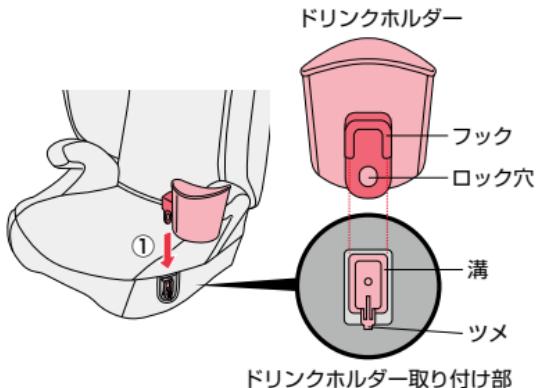


シートカバーを挟み込まないよう注意してください。

# ドリンクホルダーの使いかた

## 〈ドリンクホルダーの取り付け〉

- ① 座面のドリンクホルダー取り付け部の溝にドリンクホルダーのフックを上から差し込み、ツメにロック穴が入るまで下げる。
- ② ドリンクホルダーを引っ張り、抜けないことを確認する。

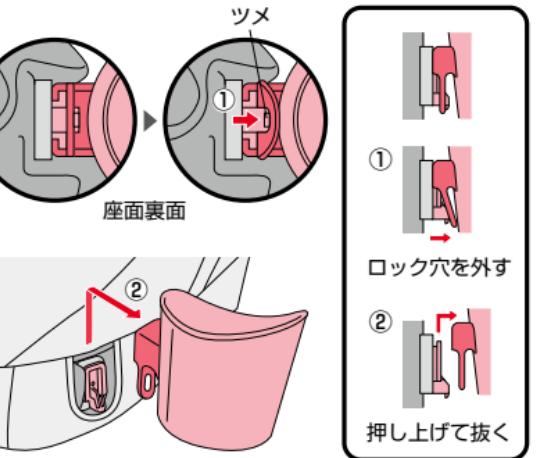


**アドバイス** やむを得ず、助手席にジュニアシートを取り付ける際、シフトレバーやサイドブレーキなど運転操作に支障をきたす場合は、ドリンクホルダーを取り付けない。

**警告**  
・ドリンクホルダーに熱い飲み物を入れない。火傷をすることがあります。  
・ドリンクホルダーに体重をかけない。

## 〈ドリンクホルダーの取り外し〉

- ① 座面シート内側のドリンクホルダーのロック部を引く。
- ② ドリンクホルダーを上げて、取り外す。

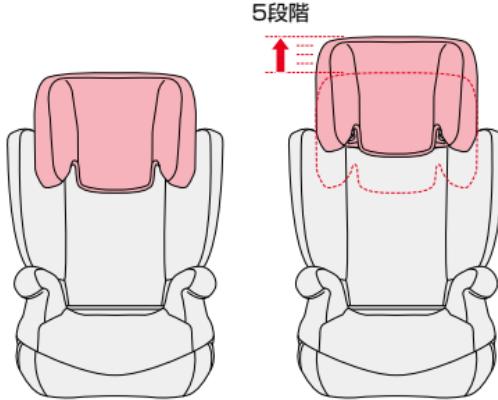
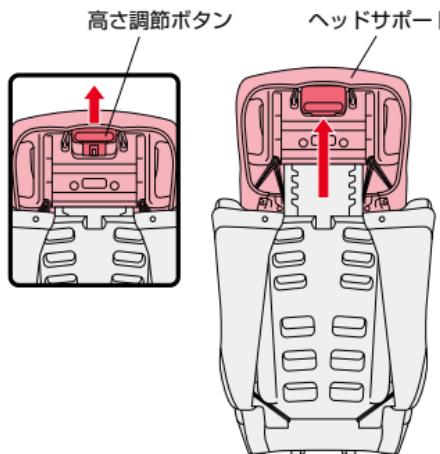


# ヘッドサポートの高さ調節

## 〈ヘッドサポートの高さを調節する〉

- ① ヘッドサポート背面の高さ調節ボタンを引き上げ、ヘッドサポートの高さを調節する。

- ② 5段階の適切な位置にしっかりと固定されていることを確認する。



ご使用前に

**警告**

・頭部重心位置（耳の上端部）がジュニアシートの背もたれの上端部より下になること。  
・ヘッドサポート調節時は本体などで手、指などを挟まないよう注意してください。手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。

**注意**

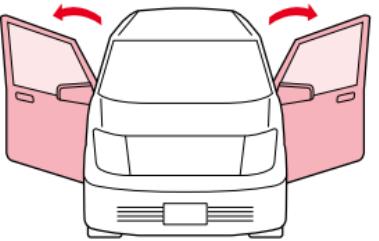
・ヘッドサポートがロックされていることを確認してください。

# 取り付け準備

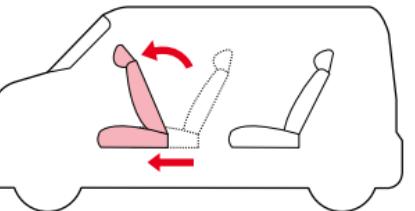
- お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをおすすめいたします。
- 本書では、右後部座席に取り付ける場合を例として説明しています。
- 車の座席形状やシートベルトの種類により、取り付け出来ない場合があります。  
詳しくはP11～P14を参照してください。

## 〈取り付け作業のスペース確保〉

- ①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。



- ②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内の作業スペースを確保できます。



## 危険

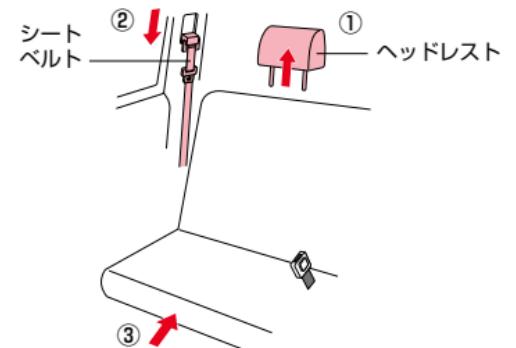
- ・ジュニアシートが確実に固定できない座席では使用しない。
- ・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。
- ・補助座席、幼児専用座席には使用しない。
- 衝突などの際に充分性能を発揮できません。**



# ジュニアシートモード／車への取り付けかた

## 〈座席の準備〉・調節可能な場合のみ。

- ①車のヘッドレストを取り外す。
- ②シートベルトの高さを下げる。
- ③車の座席を一番後ろに下げる。

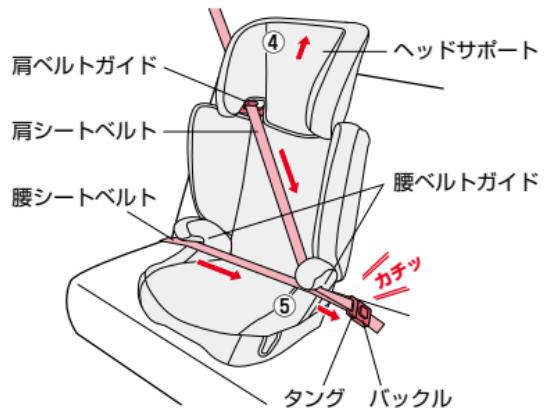


## 警告

- ・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。  
**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**
- ・座席をいちばん後ろまで移動させた場合は、座席の背もたれの上部をシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。  
**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**

## 〈ジュニアシートをのせる〉

- ④高さ調節ボタンを引き上げ、ヘッドサポートを上げる。
- ⑤肩シートベルトを肩ベルトガイド、腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し、タングをバックルに差し込む。



お子さまを乗せない時も、常にこの状態にしてください。

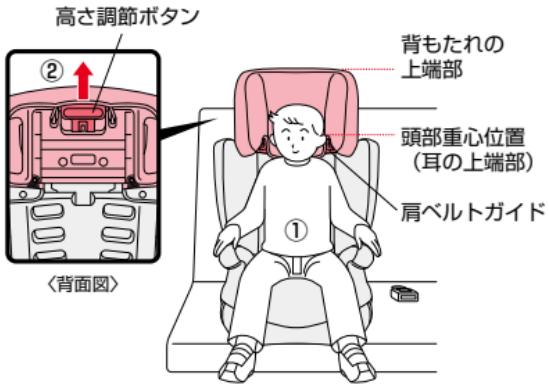


体重  
15kgから  
25kgまで

## ジュニアシートモード／お子さまの乗せかた

### 〈ヘッドサポートの調節〉

- ①お子さまを座面に深く座らせる。
- ②高さ調節ボタンを引き上げて、肩ベルトガイドをお子さまの肩より少し上に調節します。

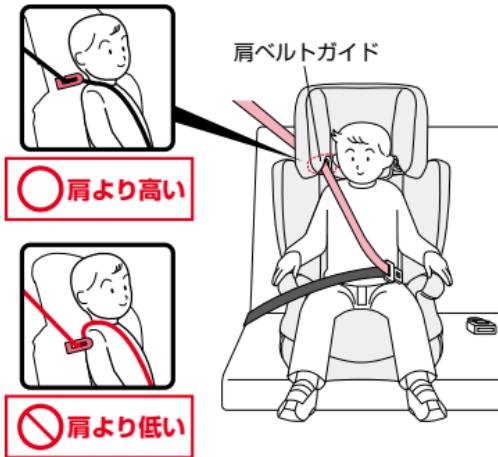


### 警告

- ・頭部重心位置（耳の上端部）がジュニアシートの背もたれの上端部より下になること。
- ・ヘッドサポート調節時は本体などで手、指などを挟まないよう注意してください。手、指などを挟み、けがをすることがあります。

### 〈肩シートベルトを通す〉

- ③肩シートベルトを肩ベルトガイドに通す。

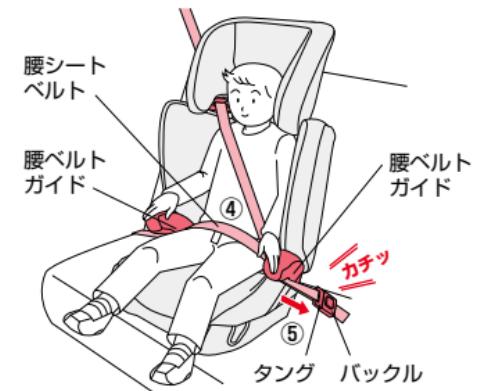


### 警告

- ・肩シートベルトにねじれがないこと。
- ・肩ベルトガイドがお子さまの肩より高い位置にあること。
- ・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

### 〈腰シートベルトをとめる〉

- ④腰シートベルトを腰ベルトガイドに通す。（左右）
- ⑤タングをバックルに差し込む。

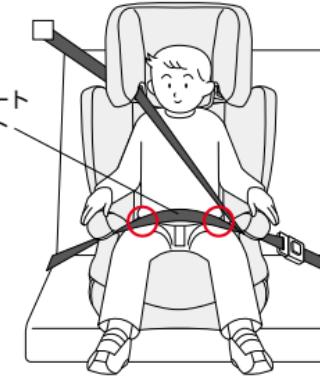


### 警告

- ・腰シートベルトにねじれがないこと。

### 〈腰シートベルトを下げる〉

- ⑥腰シートベルトがお子さまの骨盤部を通るように低く下げる。





## ジュニアシートモード／使用時の確認

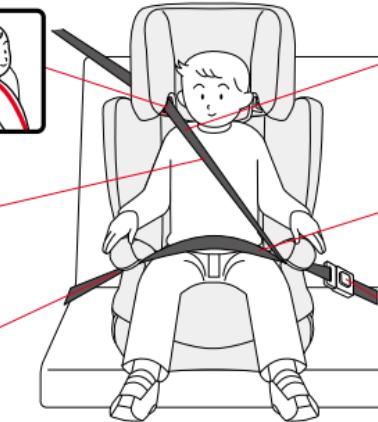


- シートベルトは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

肩シートベルトがお子さまの肩より高い位置の肩ベルトガイドを通っていること。



車のシートベルトにゆるみ、たるみ、ねじれがないこと。  
(シワは問題ありません。)



肩シートベルトがお子さまの首や身体の弱い部分に掛かっていないこと。

腰シートベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。

車のシートベルトのタンクがバックルに差し込まれていること。

腰シートベルトが腰ベルトガイドを確実に通っていること。

- 正しくできていない場合は、もう一度P24～P26の手順をやり直してください。
- 車のシートベルトにお子さまを乗せる前と比べて大きなゆるみがないこと。



## ブースターシートモード／背もたれの取り外しかた

〈背もたれを取り外す〉・取り外し作業は、広く平らな場所で行ってください。

- ①高さ調節ボタンを引き上げ、ヘッドサポートを下げる。
- ②座面の中央部に両ひざを乗せて体重をかける。
- ③背もたれを倒す。
- ④背もたれを水平に持ち上げ、取り外す。



- 取り外す時に、指などを挟まないよう注意してください。



取り外した背もたれは大切に保管してください。



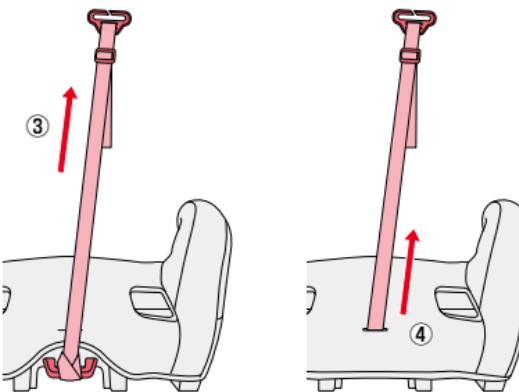
# ブースターシートモード／肩ベルト調節ストラップの使いかた

## 〈肩ベルト調節ストラップを取り付ける〉

- ①シートカバーをめくり、ストラップ先端を座面前側にして肩ベルト調節ストラップ通し穴に通す。
- ②クリップをループに通す。



- ③クリップを引き上げ、固定する。
- ④シートカバーをかぶせ、クリップを通し穴に通す。



アドバイス  
ストラップ先端は、座面前側にあること。

## 〈肩ベルト調節ストラップを調節する〉

- ⑤ラダーをゆるめ、ストラップの長さを調節し、クリップの位置をお子さまの肩にあわせる。

## 〈長くする場合〉



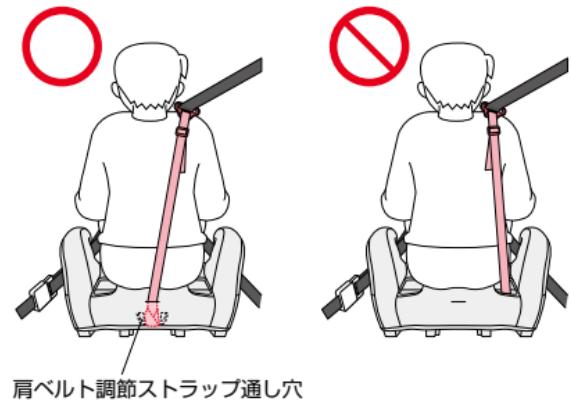
## 〈短くする場合〉



アドバイス  
ストラップ先端が、お子さまの背中側にあること。

## 警告

- ・肩ベルト調節ストラップを座面の肩ベルト調節ストラップ通し穴に取り付けていること。

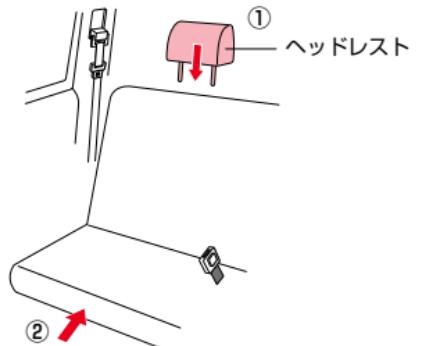




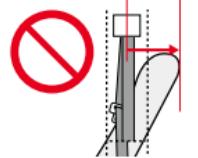
## ブースターシートモード／車への取り付けかた

### 〈座席の準備〉・調節可能な場合のみ。

- ①車のヘッドレストを取り外している場合は取り付ける。
- ②車の座席を一番後ろに下げる。

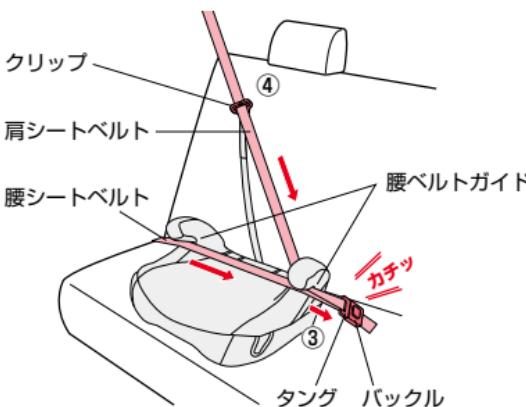


- ・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・座席をいちばん後ろまで移動させた場合は、座席の背もたれの上部をシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



### 〈ジュニアシートをのせる〉

- ③肩シートベルト、腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し、タングをバックルに差し込む。
- ④クリップを肩シートベルトに取り付ける。



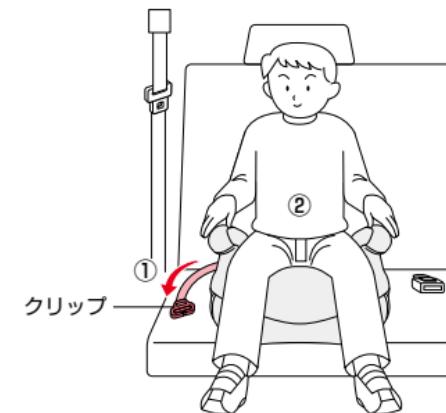
お子さまを乗せない時も、常にこの状態にしてください。



## ブースターシートモード／お子さまの乗せかた

### 〈お子さまを乗せる〉

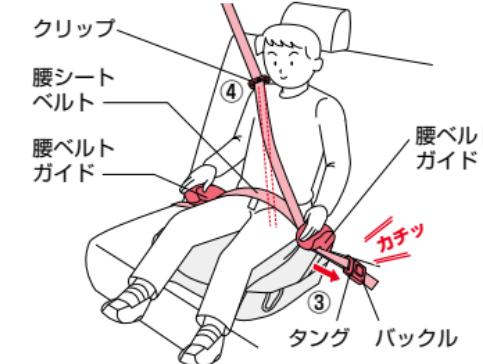
- ①ジュニアシートを車の座席に置き、クリップを横側に出す。
- ②お子さまを座面に深く座らせる。



- ・ジュニアシートの前部が座席からはみ出ないこと。

### 〈肩シートベルトをとめる〉

- ③肩シートベルトと腰シートベルトを腰ベルトガイドに通し、腰シートベルトがお子さまの骨盤部を通るように低く下げる。タングをバックルに差し込む。
- ④クリップを肩シートベルトに取り付け、調節する。  
(P30参照)



- ・肩ベルト調節ストラップはお子さまの背面側にあること。
- ・肩シートベルトにねじれがないこと。
- ・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。  
ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

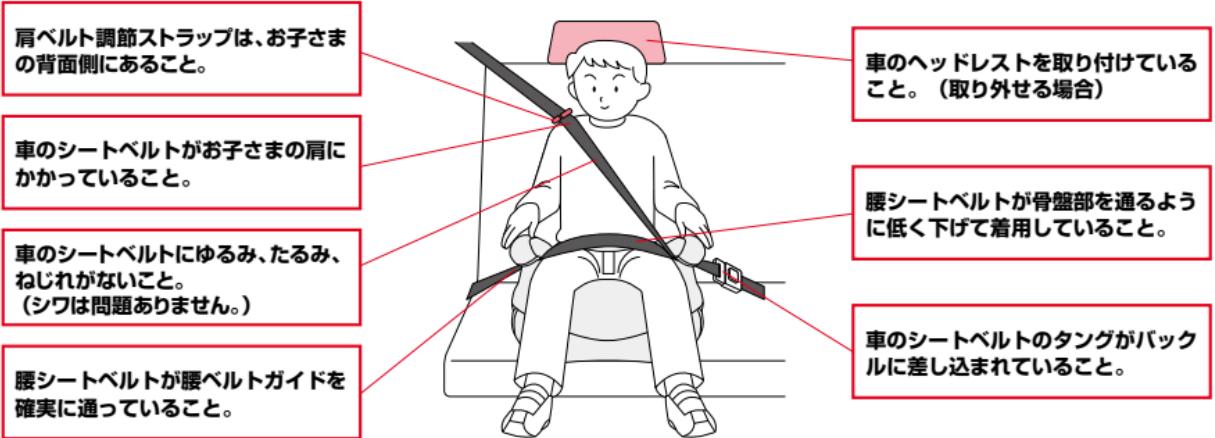


体重  
22kgから  
36kgまで

## ブースターシートモード／使用時の確認



- シートベルトは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。



- 正しくできていない場合は、もう一度P31～P32の手順をやり直してください。
- 車のシートベルトにお子さまを乗せる前と比べて大きなゆるみがないこと。

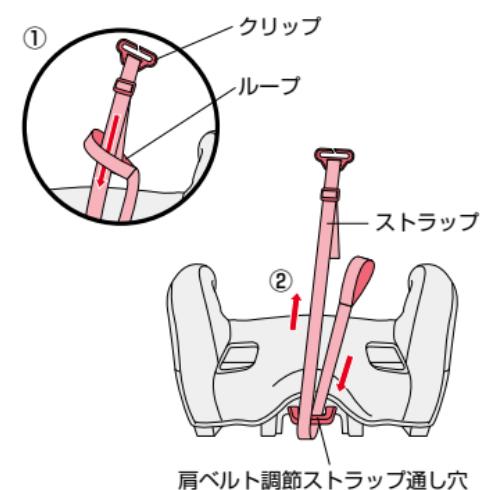


体重  
15kgから  
25kgまで

## ジュニアシートモードへの戻しかた

### 〈肩ベルト調節ストラップを取り外す〉

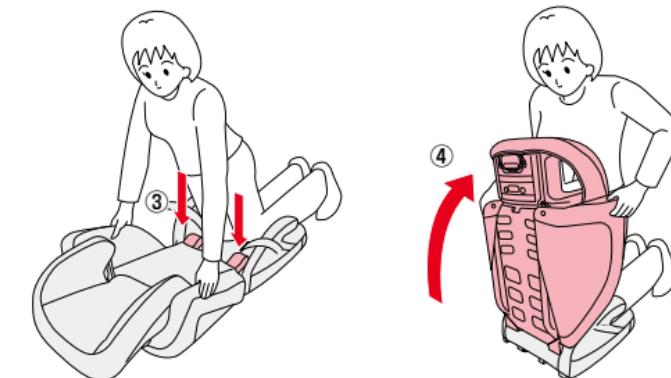
- シートカバーをめくり、クリップをループから抜く。
- ストラップを座面の肩ベルト調節ストラップ通し穴から抜き取る。



取り外した肩ベルト調節ストラップは大切に保管してください。

### 〈背もたれを取り付ける〉

- 組み立て作業は、広く平らな場所で行ってください。
- 背もたれを水平に寝かせ、アームを座面のジョイントに掛ける。
- 背もたれを起こす。
- 背もたれが確実に取り付けられていることを確認する。(P20参照)



シートカバーを挟み込まないよう注意してください。



- 組み立てる時に、指などを挟まないよう注意してください。
- 組み立てたジュニアシートを運ぶ時は、座面から背もたれが外れないよう注意してください。

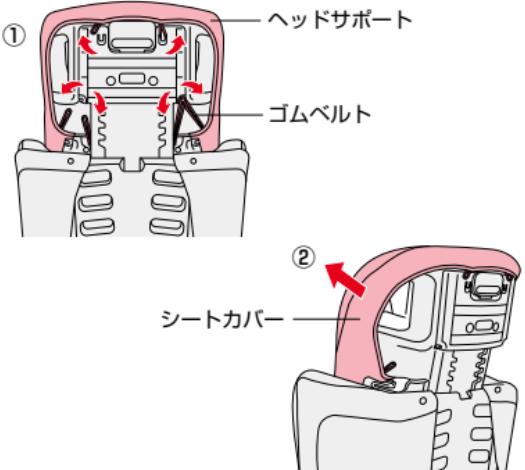
# お手入れ／シートカバーの外しかた

## 〈準備〉

- ①ヘッドサポートを1番高く引き上げる。(P22参照)
- ②背もたれを取り外す。(P28参照)

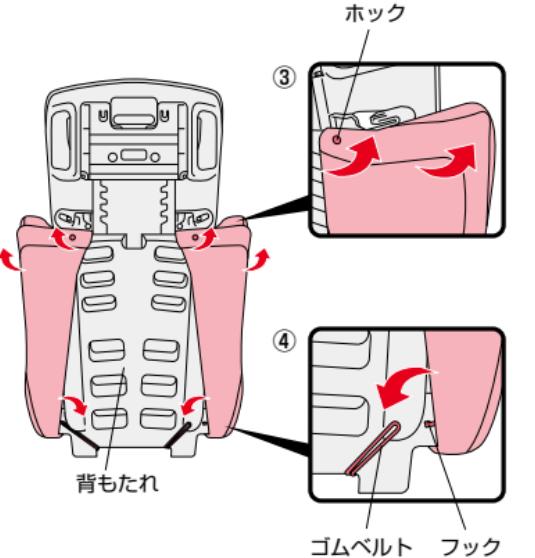
## 〈ヘッドサポート〉

- ①ヘッドサポートのゴムベルトを外す。(6カ所)
- ②シートカバーを取り外す。

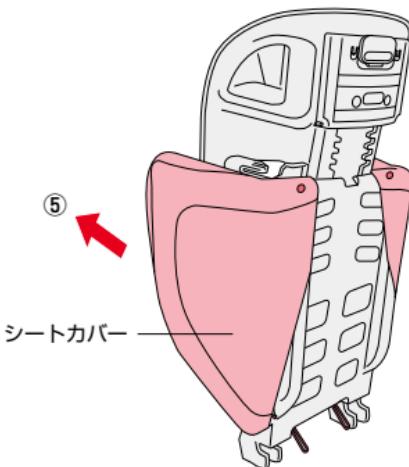


## 〈背もたれ〉

- ③背もたれ上部のホックを外す。(2カ所)
- ④背もたれ下部のゴムベルトをフックから外す。(2カ所)

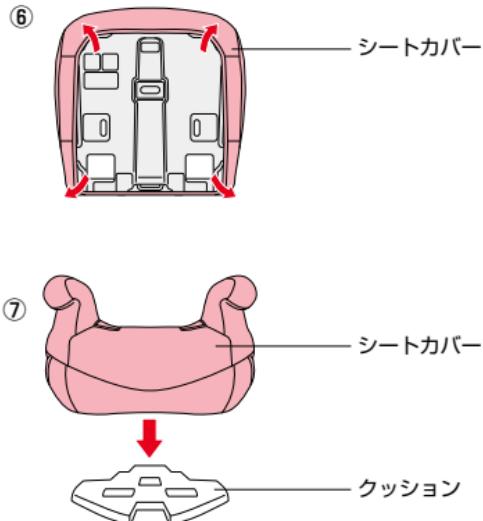


- ⑤シートカバーを取り外す。



## 〈座面〉

- ⑥シートカバーをめくり、取り外す。
- ⑦シートカバー内側のクッションを取り外す。



●取り付ける場合は、逆の手順で行ってください。

# お手入れ／保管・廃棄のしかた

## 〈シートカバーの洗濯〉



※ねじり又は絞り禁止

### 注意

- 他のものと一緒に洗濯しないでください。  
色移り（移染）のおそれがあります。

## 〈樹脂部分・クッションのお手入れ〉

### 〈樹脂部分にほこりなどが吸着した場合〉

- タオルなどで乾拭きしてください。
- 可動部にゴミがつまらないようこまめに掃除機などでゴミを吸い取ってください。

### 〈水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合〉

- 40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。
- クッションは日陰で乾燥させてください。

### 〈非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合〉

- 40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。
- クッションは日陰で乾燥させてください。

### 注意

- 本体やクッション、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。変色、変形、劣化のおそれがあります。

## 〈保管するときは〉

・本体を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。

### 注意

- 屋外に放置し、雨などにさらさない。  
劣化などにより、充分な性能を発揮できないおそれがあります。

## 〈廃棄するときは〉

- 事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。
- 地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

## 〈製品仕様〉

商品重量	4.5kg
座面のみ	1.7kg
サイズ	W442 × D413 × H672～750 (mm)
座面のみ	W433 × D368 × H220 (mm)

材質	樹脂部 : ポリエチレン シートクッション : ポリウレタン 表生地 : ポリエステル
----	---

# 困ったときに

〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

## 〈ご使用前に困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 P41参照「アフターサービスについての連絡先」
ジュニアシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	インターネットのアプリカホームページ「 <a href="http://www.Aprica.jp/">http://www.Aprica.jp/</a> 」や店頭のアプリカチャイルドシート取り付け車種一覧表を確認してください。
車のどの座席に取り付ければ良いのか判らない。	車両後部座席（3列シートの車両の場合は2列目以降の座席）への取り付けをお奨めします。 P11参照「ジュニアシートを取り付ける座席について」
ジュニアシートをどのグループで使えば良いか判らない。	お子さまの体重・身長からお使いになるグループを決定してください。P9、P10参照「お子さまの条件」

## 〈車への取り付けで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
シートベルトの通し方が判らない。	取扱説明書及び本体表示の内容に従って正しく通してください。 P24参照「グループII」、P31参照「グループIII」
シートベルトの“ねじれ”が取れない。	シートベルトのバックルにタングを“ねじって”挿入していないか確認してください。 P26参照「グループII」、P32参照「グループIII」
ジュニアシートを取り外し、車の取扱説明書に従って“ねじれ”を取り除いてください。	ジュニアシートを取り外し、車の取扱説明書に従って“ねじれ”を取り除いてください。

# 困ったときに

〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

## 〈お子さまの乗せかたで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
肩シートベルトがお子さまの首に掛かる。	肩ベルト調節ストラップのクリップの位置を調節してください。 P30参照「ブースターシートモード／肩ベルト調節ストラップの使いかた」
肩シートベルトがお子さまの肩から外れる。	肩ベルト調節ストラップのクリップの位置を調節してください。 P30参照「ブースターシートモード／肩ベルト調節ストラップの使いかた」

## 〈操作時に困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
ドリンクホルダーの取り付け方がわからない。	座面のドリンクホルダーアクセサリー取り付け部に取り付けてください。 P21参照「ドリンクホルダーの取り付け」
ヘッドサポートの高さ調節がわからない。	ヘッドサポート背面の高さ調節ボタンを引き上げ、高さを調節してください。 P22参照「ヘッドサポートの高さ調節」
肩ベルト調節ストラップの使い方がわからない。	ブースターシートモードで使用します。 P29参照「ブースターシートモード／肩ベルト調節ストラップの使いかた」

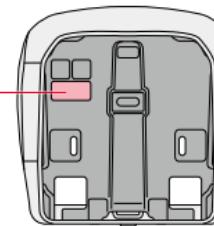
# 保証について

## 〈保証期間とアフターサービス〉

- ・アフターサービスについて  
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- ・保証期間中（**お買い上げ日より1年間です。**）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。ただし、お預かりした製品を確認した結果、弊社にて修理ができないと判断した場合は製品交換とさせていただくことがあります。
- ・ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1カ月です。）  
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。  
**（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。）**

- ・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、  
座面裏面シールの**品名・品番・ロット番号**を必ずお伝え  
ください。

品名・品番・ロット番号シール



# 保証について

## アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL **0570-004-155**

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

## お買い上げ時レシート 貼り付け位置

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。